

「多摩区の魅力いきいき部会」審議経過報告

～「多摩区の魅力いきいき部会」では、生田緑地、多摩川などの水と緑の資源や、多摩川音頭などの文化資源、その他様々な地域資源を活かした魅力的で住みやすい多摩区について考えます～

審議の方向性

※次のとおり決まりました。

来訪者が魅力を感じるだけでなく、住んでいる人がその魅力を再認識し、改めて心地良いと感じるまちにするにはどうしたら良いかを考える。

審議課題案

※審議の方向性を踏まえ、次の5つの審議課題案が挙げられました。

◇審議課題案1: 多摩区の魅力を掘り起し発信する

- ・多摩区民は意外と生田緑地を訪れていない→区民自体が多摩区の魅力をあまり知らない。そこで、まずは区民に多摩区の魅力を知ってもらうことが大事だと思う。
- ・多摩区の魅力を再確認して区民に周知することで、区外にも発信できる。

◇審議課題案2: 子どもが多摩区の伝統文化と接する機会をつくる

- ・子どもが多摩区の伝統文化と接する機会を作ることにより、地元への愛着が生まれ、大人になっても多摩区に住もうという思いを持つと考えられる。
- ・多摩川音頭には、地元の名所や史跡について唄われている。このため、子どもたちに多摩区の歴史などを学んでもらうためのツールとするのが良い。

◇審議課題案3: 若者世代の流入・定住を考える

- ・多摩区は将来市内で最初に人口のピークを迎えると推計されている。このため、子育て世代などの若い世代に定住を促すようなしなやかな作りが求められる。
- ・多摩区の子育て施策や事業、活動をコンテンツ化し広くアピールする方法を考える。

◇審議課題案4: 魅力ある街並み・景観作り

- ・多摩区の魅力を向上させる方策として、魅力ある街並みづくり、景観整備が挙げられた。多摩区では現在「登戸土地区画整理事業」が進行中であり、その結果が将来の街を形作ることになる。
- ・区画整理事業は向ヶ丘遊園駅・登戸駅の駅前および周辺を対象としているが、多摩区の玄関口である両駅および周辺の景観を整えることが多摩区の魅力UPにつながる。

◇審議課題案5: 自転車のモラル・マナーを向上させる

- ・放置自転車や、携帯・スマートフォンを見ながら運転する人など、自転車利用におけるモラル・マナーは依然良くない状況が見られる。自転車のモラル・マナー向上に向けた更なる取組が求められる。
- ・小学生だけでなく、大人や高齢者をターゲットとした自転車利用のモラル・マナーを向上させる方法を考える。

審議の途中で、課題として取り上げないこととしました。

審議課題の絞り込み

※5つの審議課題案の中から各委員が企画提案を行いました。企画提案を整理すると次の2つに絞られました。

◇審議課題案1: 多摩区の魅力を掘り起し発信する

+

◇審議課題案2: 子どもが多摩区の伝統文化と接する機会をつくる

キーワード1: 多摩区の魅力・資源のPR、情報発信

(情報発信支援も含む)

- 市の広報紙で毎月継続して多摩区の魅力・資源をPRし続ける。
- 子どもをターゲットにして、より積極的に生田緑地のイベントや生田3館のPRをする。
- 多摩区を回遊させることで魅力・資源に触れてもらう。
- 豊かな魅力・資源等を融合して多摩区の「顔」をつくる。
- 地域で行われているお祭りなどを多くの人に知ってもらい、参加してもらう。

キーワード2: 多摩区の伝統文化・芸能の伝承

- 伝統芸能をCDやイラストなどの形に残し、学校等で活用してもらう。
- 自然と伝統文化や芸能に触れることができるような子ども参加型イベントを行う。

◇審議課題案4: 魅力ある街並み・景観作り

キーワード: 区画整理途中の景観維持

- 参考となる他地域の事例などを調査研究し、パネルや花壇等の設置について検討する。
- 区画整理事業エリアには、一部仮囲いされた状態のままの個所などが散見される。この間も区民が居住し生活しているため、街並みと景観に配慮しながら、可能な限り利活用を図るべきである。
- 事業エリアを現地調査し、景観上課題と思われる個所をピックアップ。該当個所毎に今後の整備計画を確認し、一時的な利活用が可能な場所について、市民主体または市民と行政の協働で何ができるか、整備手法など事業の枠組を検討する。

審議課題について

決定

◇多摩区の魅力を掘り起し発信する ◇子どもが多摩区の伝統文化と接する機会をつくる

- 多摩区の魅力の発信方法を検討する。(情報発信については、区民主体もしくは区民と行政の協働の仕組みを検討する)。
- 動画を使ったPRの仕組みを検討する。
- これまでも魅力PRのための印刷物等は数あるが、それらをどう有効に使うことができるかを考える。
- 市政だよりやコミュニティ誌などで、継続的に特集を組んでもらえるような仕組みを検討する。

など

<今後の取組>

市民が主体的にまたは市民と行政が協働で地域の魅力資源を動画でPRしている活動について学ぶ。

など

審議課題案4について

多摩区特有かつ地域住民の関心も高い課題であることは、各委員も認識していましたが、一方で多摩区全体に共通した課題かどうかという点での議論もなされました。

審議にかかる時間なども考慮して、最終的に審議課題としては取り上げないこととなりましたが、第5期多摩区区民会議報告書において、その重要性を示すとともに、解決手法に関する提案や、事業の枠組の検討の必要性について言及することが部会の中で確認されました。